

縦書き、横書き共通

- ・用紙：A4 サイズ。
- ・フォント：MS 明朝 12 ポイント。欧文の場合 Times New Roman 12 ポイント。
章題は MS ゴシック 12 ポイント、太字。
欧文の場合 Times New Roman 12 ポイント、太字。
- ・マージン：上下左右 3cm。
- ・行間固定値 20 ポイント。以下で「1 行空け」などの指示がある場合も固定値 20pt の設定で。
- ・ジャンル（論文、研究ノート、翻訳、報告など）、題名、氏名、所属を 1 ページ目に記す。
- ・ページ番号はつけない。
- ・参考文献：ギリシャ語文献、他の欧文文献、日本語文献の順（それぞれ著者姓のアルファベット順、五十音順）に。もしくは、「一次文献」「二次文献」を分ける場合、それぞれの内部は上の順に。

横書き

- ・1 頁：35 字×33 行。行間 20 ポイント。
（欧文使用の場合も、なるべく 33 行は守ってください）
- ・ジャンルのラベル：14 ポイント、枠で囲む。文字と枠との間隔は 10 ポイント。左寄せ。
- ・ジャンルのラベルの次は 2 行空け。
- ・タイトル：16 ポイント。太字。行間 25 ポイント。中央寄せ。（サブタイトルは 14 ポイント）
- ・タイトル（サブタイトル）の次は 1 行空け。
- ・氏名：16 ポイント。太字。右寄せ。行間 20 ポイント。
- ・所属：12 ポイント。右寄せ。行間 20 ポイント。
- ・本文と所属（もしくは氏名）との間は 1 行空け。
- ・注：脚注、文末注いずれも可。MS 明朝 12 ポイント、行間 18 ポイント。注番号はアラビア数字。

欧文要旨（付すかどうかは自由）

- ・フォント：Times New Roman
- ・行間：20 ポイント
- ・タイトル、氏名、所属名の順。中央揃え。太字。
サブタイトルがある場合、タイトルの最後にコロン（:）。
- ・氏名は、個人名、姓の順。姓はすべて大文字。
- ・2 行空けて本文。

縦書き

- ・2 段組み。各段：25 字×21 行。行間 20 ポイント。
- ・ジャンルのラベル：12 ポイント。枠で囲む、文字と枠との間隔は 5 ポイント。上寄せ。
- ・ジャンルのラベルの次は 1 行空け。
- ・タイトル：16 ポイント。太字。行間 30 ポイント
翻訳の場合、原著者名は 1 字下げ。作品名は 2 字下げ。
- ・タイトル（サブタイトル）の次は 1 行空け。

- ・氏名：12 ポイント。太字。下寄せ。
- ・所属：12 ポイント。下寄せ。
- ・4 行空けて本文。
- ・注：脚注、文末注いずれも可。

脚注の場合、MS 明朝 10.5 ポイント、行間 18 ポイント

文末注の場合、MS 明朝 12 ポイント、行間 20 ポイント。注番号は漢数字表記。

- ・文末注、解説、参考文献：本文と同じフォーマット。（ただし、「注」「解説」「参考文献」の文字自体は MS ゴシック太字）
- ・アラビア数字は横倒しになってしまうので、漢数字使用を推奨。
- ・全体の行の左辺が切れる場合は、[段落] — [体裁] — [文字幅と間隔] — [文字の配置] — [自動]（または [下揃え]）の設定に。

ルビ

- ・横書きは通常の [ルビ] 機能「オフセット 0pt」「サイズ 5pt」でうまくレイアウト表示される。
- ・縦書きの場合、以下のような微調整が必要。

①まず [ルビ] 機能で必要箇所にルビを作成。

② [Alt] と [F9] を同時に押す。

③テキスト内に以下のようなルビのデータが表示される（例、「教育」にルビ「きょういく」）。
「hps10」はルビのサイズ、「\up 12」はオフセット（ルビと文字の間隔）を示す。

```
{EQ\*jc2\* "Font:MS 明朝"\* hps10 \o\ad(\s\up 12(きょういく),教育)}
```

④ワープロの変換機能で、「hps10」「\up 12」を「hps9」「\up 8」にそれぞれ変換する。ルビ 9pt、オフセット 8 pt 推奨。

一括変換するのが便利だが、その場合は「hps」「\up」が必要（数字だけだと必要ない部分まで変換されてしまうため）。

⑤再び [Alt] と [F9] を同時に押して、ルビのデータを画面から消す。

⑥画面でレイアウトを確認する。見栄えが悪くなる箇所がある場合、その箇所ごとにサイズやオフセットを適宜調整し修正する。

翻訳

- ・感嘆符・疑問符の後は 1 字空け。
- ・（省略用に使う）リーダは 6 個「……」（3 点リーダを二つ連ねる）。
- ・ダッシュは二つ連ねる。「――」。
- ・会話のカギ括弧の行頭は 1 字下げない。

上に規定のない場合は、執筆者の判断にお任せします。例えば、引用文の形式など。
不明な点は編集委員にまでお尋ねください。